



<29日の聖書より> “ある時、道端に大怪我をした人が倒れていましたが、誰も助けませんでした。言い訳はあるでしょう。「知らない人だし、急いでいたし。」とか「大怪我だとは思わなかった」とか。でも、あるサマリヤ人だけは違いました。迷わずに近寄り、傷の手当てを受けさせ、有り余る厚意の手を差し伸べました。”というたとえ話の後でイエス様は「さて、この怪我をした人にとって本当の隣人(ここでは「傍らにいてくれる人」という意味)は誰でしょう?と問います。さて私達はこの聖書の御言葉を聞いて何を思うでしょう?色々あると思います。「このサマリヤ人のように親切な人になろう」と思う人もいるでしょう。それも良いことですが、今回は別の視点で見ましょう。つまり自分が“サマリヤ人”ではなく、“助けられた人”であるという視点です。そうすると「サマリヤ人」は誰? イエス様です。自分の決心で人に親切にしようとしても、限界があります。時にはいつの間にか親切が義務になったり、逆に自慢したくなる時すらあります。しかし「あの時、助けてもらった感謝は一生忘れられない」という思いがあるなら、今度は自分が他の人に手を差し伸べる番の時、それは面倒なことではないどころか、喜びになるでしょう。教会が行うボランティア活動と世間一般のそれとの違いは、ここなのです。イエス様を知っている人が世を愛し、良い事をしたいと願うのは「私はイエス様に愛されている」と知っているからなのです。「どれくらい愛されているか?」ですって?それは、十字架上でご自分の命を捨てて下さる程に、です。今学期、主の愛に押し出されて、学校で、家庭で、いつも傍らにいてあげる「本当の隣人」として過ごしましょう。

5日「お誕生会」 9月生まれのお友達、お誕生日おめでとう!

祝福のお祈りとお誕生会、プレゼントがあります。皆でお祝いしましょう。

教会の看板が立ちます!

念願の清水草薙教会の看板が2つ、この町に立ちます。もう見つけた人もいるかしら。一人でも多くの方がこの教会の存在を知り、来てイエス様の十字架のあがないを信じて救われるようにと願って献品されました。祝福され、用いられるようにお祈り下さい。

バザーのお知らせ 11月13日(土)を予定しています。手作り日用品など、是非ご協力下さい。よろしく願います。詳しくは10月号で!

19日の夕方礼拝は、「東部教区修養会」という行事のため、お休みです。ご注意ください!!!

9月のメッセージの聖書箇所

	聖書箇所
5日	(新約聖書)ヨハネ3章
12日	" ルカ10:38-24
19日	" ルカ19:1-10
26日	" ヨハネ11章

今月のみ言葉

「人は新しく生まれなければ、神の国をみることはできません。」
(新約聖書)ヨハネ3章3節